

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	利用者に対する職員の言葉、コミュニケーションのとり方に、強い口調や態度が見受けられた。日頃の利用者への対応が適切であるかどうか職員全員で振り返るなど、さらなる意識付け、実践が必要。	利用者にとって不快感を与えない言葉掛け、行動を目指す。	行動目標として職員エリアへ掲げることで常に全職員が意識的に取り組めるようにする。また言葉掛けだけでなく日頃の行動全般においてもお互いが注意できる環境作りにも努めていくと同時に、定期的に確認できるシステムを構築し	3ヶ月
2	24	事前訪問で把握した内容を基本台帳やアセスメント様式に記入しているが、生活環境、暮らし方などの記載が十分でないものも見受けられる。把握した情報や気付きは小さなものでも記録し、より一層のその人らしい暮らしの支援に活用していくことが必要。	把握できた情報は全職員が共有し、その人らしい暮らしが送れるよう援助していく。	第三者が記録を見た時に、その方の生活環境や暮らし方などが把握できるよう、何か小さなことでも情報収集に努め、必ず記載するようにする。また記載方法など全職員が統一して行えるようミーティング等において周知徹底を図っていく。	6ヶ月
3	26	日々の生活記録は細部まで記載されているが、どのように介護計画の実践に取り組んでいるかについて記録内容が十分でない。目標に対するケアの実践状況を明確に記載し、モニタリングや見直しにより一層活用することが必要。	モニタリングや見直しに活用できるような記録方法を全職員が会得できる。	現在計画作成者を中心にケアプラン作成からモニタリングや記録方法など一連の流れを再認識してもらえるように、全職員を対象に研修会を実施していく。	6ヶ月
4	35	グループホームの職員自身もマニュアルや防災設備の操作手順、避難経路等を職員自身も熟知しておくことが必要であり、また地域との連携について具体的に災害時に協力や応援が得られる態勢を構築していかなければならない。	マニュアルや防災設備操作を熟知し、また地域との災害時における協力体制を強めていく。	防災委員会を中心に個別に操作手順などの防災演習を繰り返し実施していく。また現在も訓練に町内会長や民生委員に参加して頂いているが、今後さらに地域内の参加者を募り、災害時における相互協力関係を構築していく。	12ヶ月
5	36	職員同士の会話の内容が聞こえたり、利用者に対する支持的な言葉が見受けられた。プライバシーを損ねない対応について振り返りを行わなければならない。	利用者にとって不快感を与えない言葉掛け、行動を目指す。また情報交換の際は利用者のいない場所で行う。	行動目標として職員エリアへ掲げることで常に全職員が意識的に取り組めるようにする。また言葉掛けだけでなく日頃の行動全般においてもお互いが注意できる環境作りにも努めていくと同時に、定期的に確認できるシステムを構築していく。	3ヶ月